

殿

骨材試験報告書

平成 年 月 日

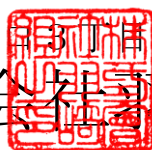
工事名 _____

工事場所 _____

製品名 _____

福井市志比 2番14号

株式会社 福羽崎組



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 羽崎組
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼事項	試料採取日	平成31年2月20日
	試料採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場
	試料採取者	酒井 利視
試料搬入日		平成31年2月20日
試験日		平成31年2月21日 ~ 平成31年3月29日

試験体種類	産地
粗骨材 並砂利(40~20)	九頭竜川水系 坂井市丸岡町

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.99
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.1
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.67
		実積率 %	64.2
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.62
		絶乾密度 g/cm ³	2.60
		吸水率 %	1.01
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	13.5
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	0.5
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.07
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5002	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	

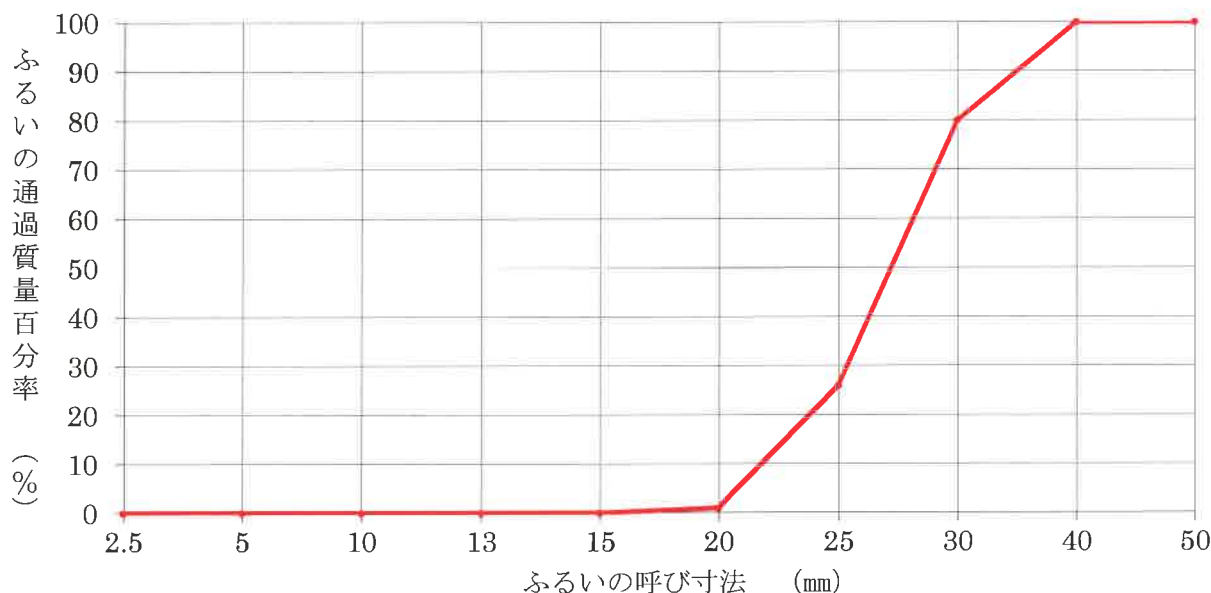
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	平成 31 年 2 月 27 日			
試料	種類	並砂利(40~20)	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	8652	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	1767	20	20	80
(25)	4635	54	74	26
20	2191	25	99	1
(15)	52	1	100	0
(13)	0	0	100	0
10	0	0	100	0
5	0	0	100	0
2.5	0	0	100	0
受け皿	5	0	100	0
合計	8650	100	-	-
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	7.99	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		平成 31 年 2 月 26 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	平成 31 年 2 月 20 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	4290.2	4334.5
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	4286.5	4330.2
骨材の 微粒分量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.1	0.1
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.1	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			平成 31 年 3 月 11 日	
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	23.343	23.356
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	16.643	16.656
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.67	1.67
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.67	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d_D	2.60	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	64.2	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 煤田 直也

試験日			平成 31 年 3 月 6 日	
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	5028.7	5066.2
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	3512.3	3535.7
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	397.3	397.3
	試験温度における水の密度 (g/cm^3)	ρ_w	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_s	2.62	2.62
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_s	2.62	
平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	4979.1	5014.9
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_d	2.60	2.60
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_d	2.60	
	平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.00	1.02
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.01	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日		平成 31 年 3 月 14 日					
試料		種類		並砂利(40~20)			
		産地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町			
		採取日		平成 31 年 2 月 20 日			
		採取場所		株式会社 羽崎組 森田工場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	5	0				
5	2.5	0	0				
10	5	0	0				
15	10	0	0				
20	15	52	1				
25	20	2191	25				5000
40	25	6402	74				5000
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		8650	100	G	12	1000	10000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	8646			
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)	1354			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		(%)	13.5		

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				平成 31 年 3 月 20 日			
試 料		種 類		並砂利(40~20)			
		産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町			
		採 取 日		平成 31 年 2 月 20 日			
		採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	(g)	(g)	(%)	(%)
10	5	0	0	—	—	—	—
15	10	0	0	—	—	—	—
20	15	52	1	—	—	0.5	0.0
25	20	2191	25	1023	1018	0.5	0.1
40	25	6402	74	1524	1516	0.5	0.4
60	40	0	0	—	—	—	—
合 計		8645	100	—	—	—	0.5

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもってその群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材		
試 験 日	平成 31 年 3 月 14 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町
	採 取 日	平成 31 年 2 月 20 日
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場
試験前の試料の乾燥質量 (g)	m_{D1}	5378
試験後の試料の乾燥質量 (g)	m_{D2}	5374
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)	C	0.07

注) 試験の回数は1試料につき1回とする。ただし、最初の試験で粘土塊量が1.0%を超える場合は再度試験を行う。

